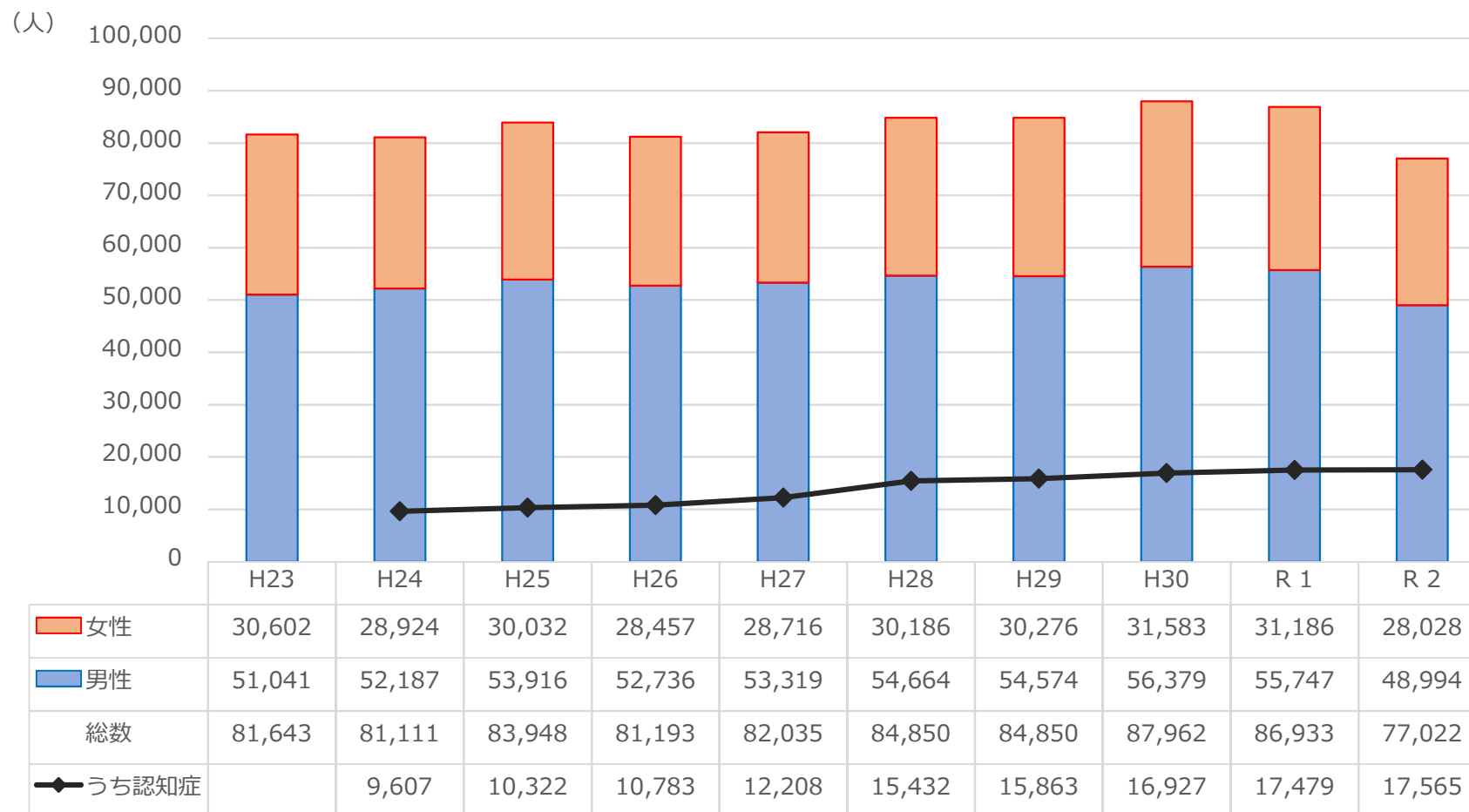


1 行方不明者数の推移

- 令和2年の行方不明者数は統計の残る昭和31年以降最少。



[注記]

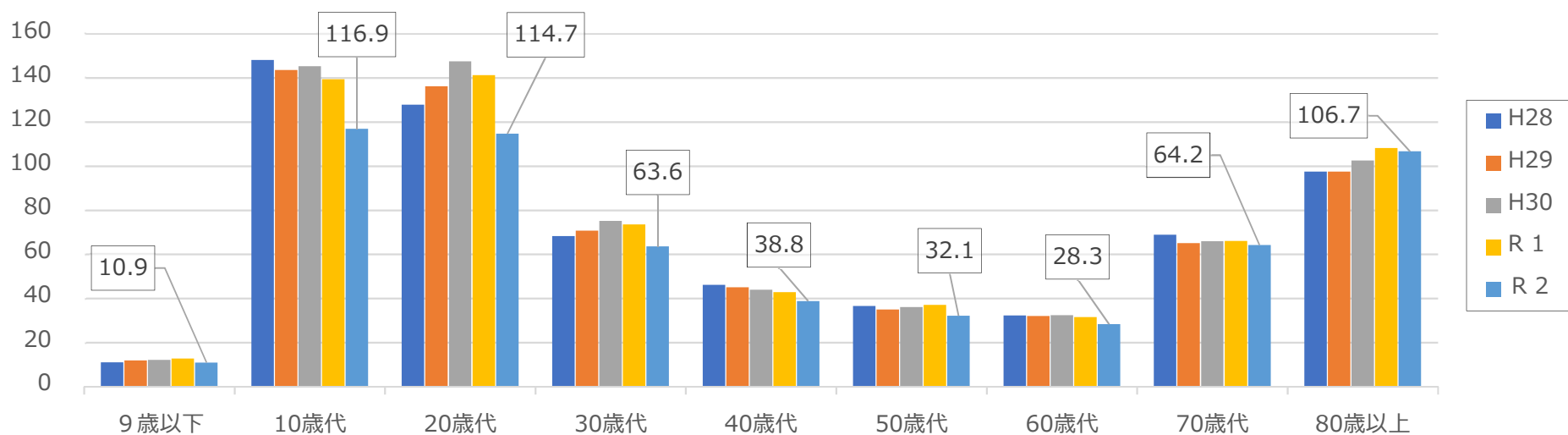
- 行方不明者数は、警察に行方不明者届が出された者の数であり、延べ人数。
- 認知症は、行方不明者届受理時に届出人から、認知症又はその疑いにより行方不明になった旨の申出のあった者。

2 行方不明者数の推移（年齢層別）

単位：人	H28		H29		H30		R1		R 2	
	行方不明者数	人口10万人当たり	行方不明者数	人口10万人当たり	行方不明者数	人口10万人当たり	行方不明者数	人口10万人当たり	行方不明者数	人口10万人当たり
9歳以下	1,132	11.0	1,198	11.8	1,216	12.1	1,253	12.7	1,055	10.9
10歳代	17,118	148.2	16,412	143.6	16,418	145.3	15,572	139.4	12,860	116.9
20歳代	16,038	127.9	17,052	136.2	18,518	147.6	17,852	141.3	14,516	114.7
30歳代	10,495	68.2	10,615	70.8	10,996	75.2	10,512	73.5	8,879	63.6
40歳代	8,769	46.2	8,502	45.0	8,239	43.9	7,935	42.8	7,066	38.8
50歳代	5,649	36.6	5,507	35.0	5,761	36.0	6,016	37.0	5,314	32.1
60歳代	5,942	32.2	5,663	31.9	5,488	32.4	5,109	31.5	4,442	28.3
70歳代	9,589	68.8	9,425	65.0	10,000	65.9	10,517	66.0	10,487	64.2
80歳以上	10,118	97.5	10,476	97.5	11,326	102.6	12,167	108.2	12,403	106.7

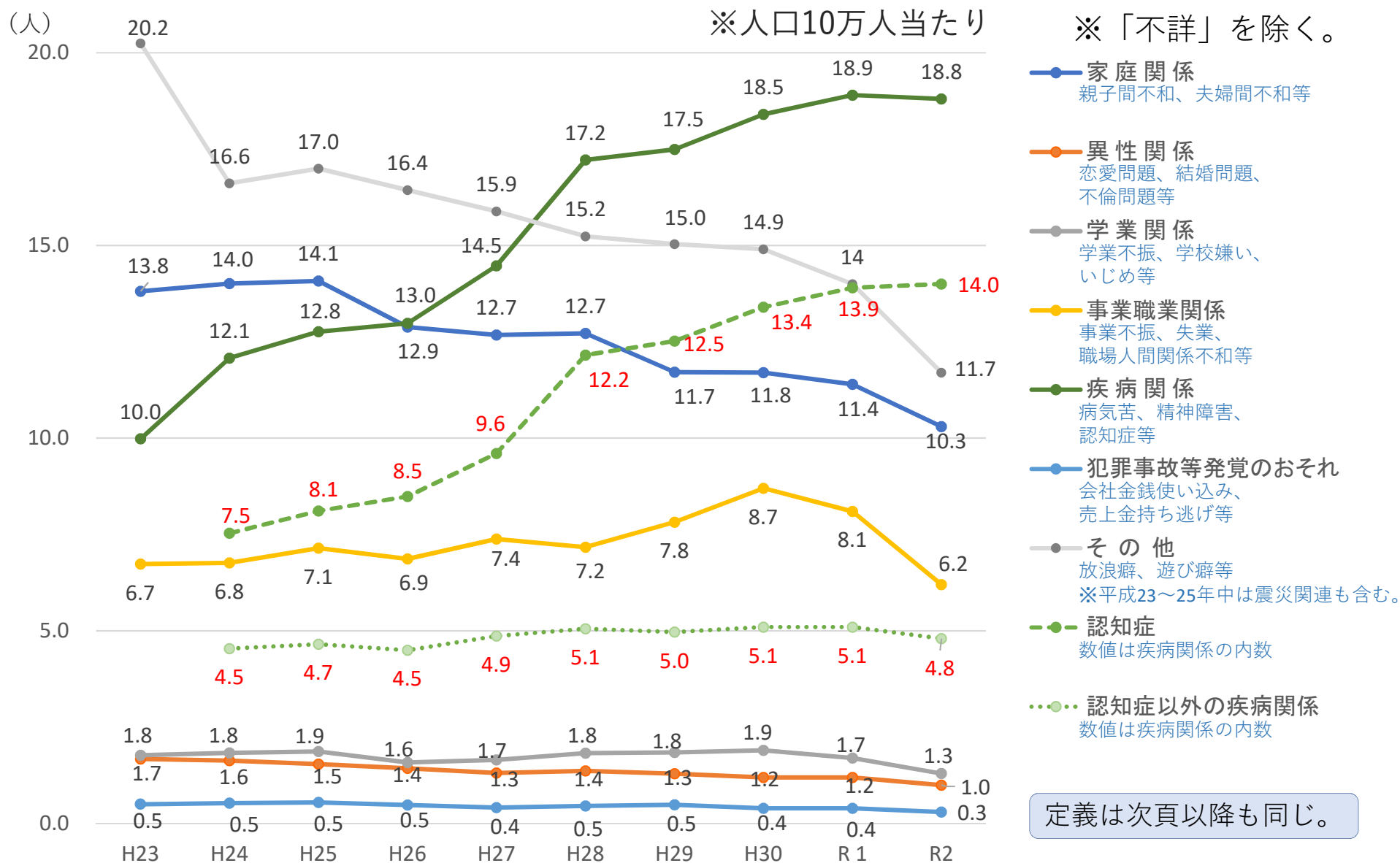
※ 小数第2位以下四捨五入

人口10万人当たりの推移



3 行方不明者数の原因・動機別推移

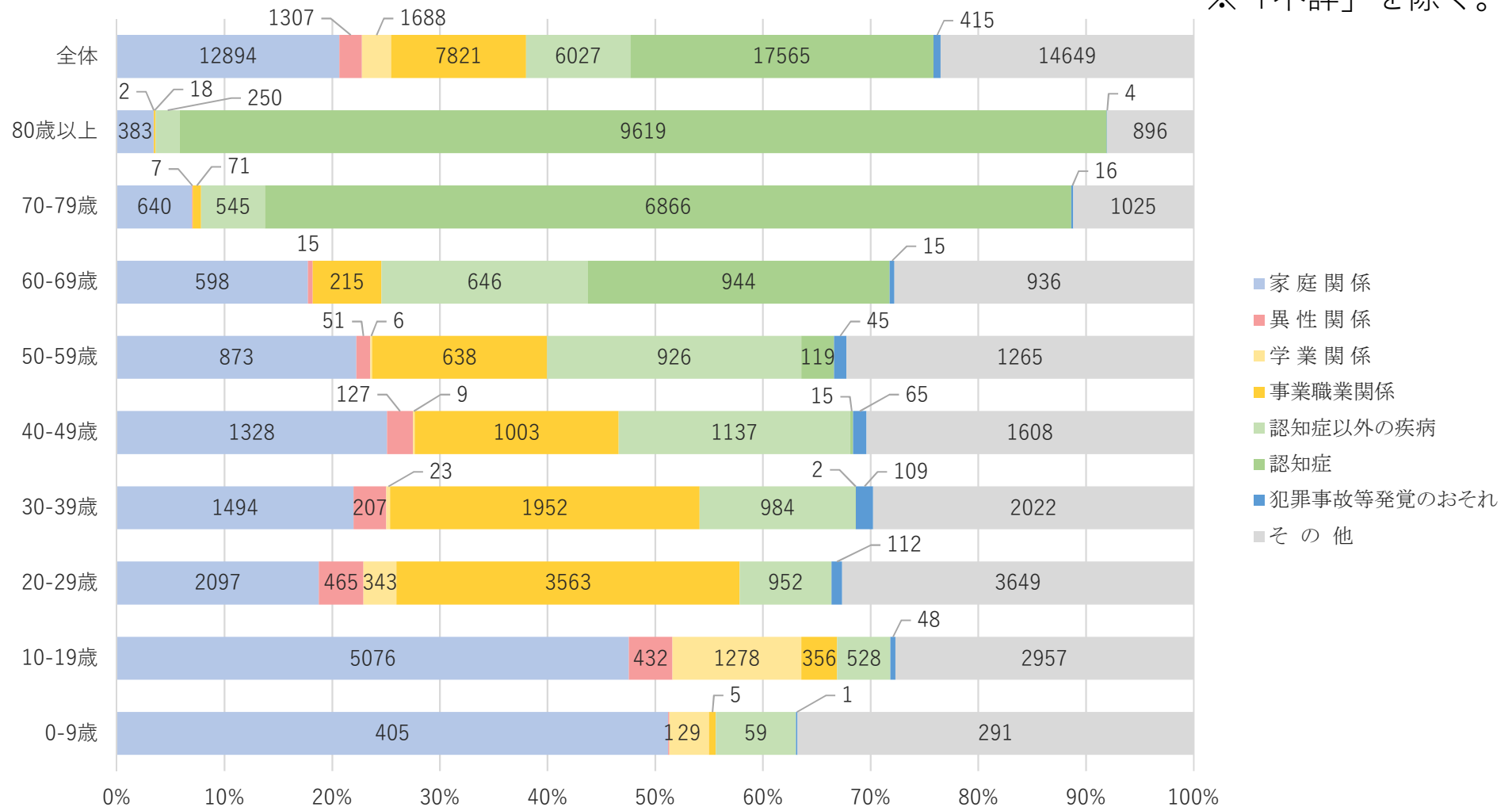
・認知症は平成24年以降、年々増加。



4 行方不明者数の原因・動機別割合(令和2年中)

- ・年齢層に応じて原因・動機別の割合が変化。
- ・60歳代以上は認知症の割合が増加。

※「不詳」を除く。



5 行方不明者の所在確認等の状況

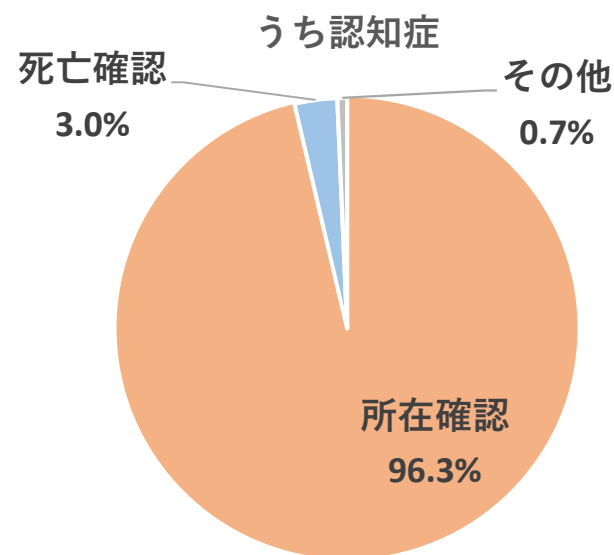
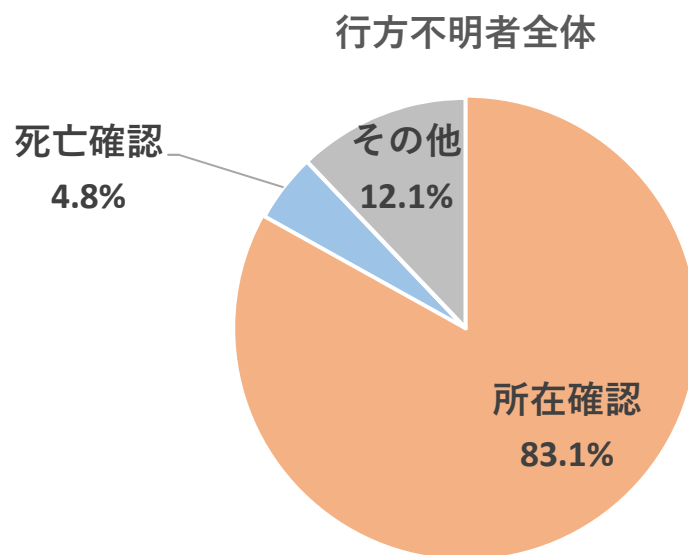
	令和2年中の 所在確認等の総数	所在確認		死亡確認		その他	
			構成比		構成比		構成比
行方不明者全体	79,640	66,166	83.1%	3,830	4.8%	9,644	12.1%
うち認知症	17,532	16,887	96.3%	527	3.0%	118	0.7%

※ 小数第2位以下四捨五入

所在確認・・・警察又は届出人等において所在が確認された者

死亡確認・・・警察において死亡が確認された者

その他・・・届出が取り下げられた者等



6 所在確認された行方不明者の所在確認までの期間(令和2年中)

- ・ 認知症行方不明者は受理当日に7割以上、1週間以内に約99%が所在確認されるなど、行方不明者全体と比較して早期に所在確認。

	所在確認の総数	受理当日	2日～7日	8日～14日	15日～1ヶ月	1ヶ月～3ヶ月	3ヶ月～6ヶ月	6ヶ月～1年	1年～2年	2年以上
行方不明者全体	66,166	33,158 (50.1%)	20,702 (31.3%)	2,015 (3.0%)	1,836 (2.8%)	2,166 (3.3%)	1,215 (1.8%)	1,587 (2.4%)	1,405 (2.1%)	2,082 (3.1%)
うち認知症	16,887	12,529 (74.2%)	4,242 (25.1%)	42 (0.2%)	22 (0.1%)	23 (0.1%)	13 (0.1%)	7 (0.0%)	4 (0.0%)	5 (0.0%)

※ 死亡確認、その他は含まない。
 ※ 小数第2位以下四捨五入

